



チーバくん

令和2年度

大収蔵資料展

うみ はく たから だい しゅう ごう

海博・お宝大集合!

開催期間 令和2年7月18日(土)～9月27日(日)



110年ぶりの発見：ドフライインイソギンチャク



東京湾で135年ぶり：ムギワラエビ

千葉県立中央博物館分館 海の博物館



昔房総にも来た：チョウザメ類

海の博物館は平成31年3月に開館20周年を迎えました。この20年間に収集した海の生きものに関する資料＝「海博のお宝」の数々が大集合します!



■交通

JR外房線

鶴原駅から徒歩約15分
勝浦駅から小湊鉄道バス「勝浦駅・ミレーニア」
循環線「海の博物館」下車、徒歩1分
勝浦駅から小湊鉄道バス「海中公園センター」
行き終点下車すぐ(土曜日のみ)

自動車

千葉市から約2時間
圏央道・市原鶴舞ICから約1時間

■ご利用案内

開館時間

午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)

休館日

展示期間中は7月20日(月)、
9月7日(月)、14日(月)、23日(水)

入場料

一般 200円、高校・大学生 100円
中学生以下、65歳以上、障害者とその介護者 無料
その他団体割引等の制度があります

駐車場

午前8時30分～午後5時15分
普通車2時間まで200円
障害者とその介護者は無料



千葉県立中央博物館 分館

海の博物館

〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾123
TEL 0470-76-1133 FAX 0470-76-1821
URL <http://www.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/>



海の博物館には、海の生きものに関する多くの貴重な資料が保存されています。100年以上ぶりに確認された生きものの標本、世界でも珍しい生きものの標本、海底にできるミステリーサークルが1匹の魚によって作製される過程を記録した動画、そして、新種を発表する際に定められる標本などなど。この企画展示では、海の博物館のお宝の数々を、一挙公開します！

こんな資料、あります！



東京湾で135年ぶりに見つかったムギワラエビ

2015年に、1880年以来、実に135年ぶりに東京湾で確認されました。当館にその標本が保存されています。



アミホシゾラフグのミステリーサークル

奄美大島の海底で見つかったミステリーサークル。当館研究員等が撮影した動画等を基に、その作製過程が明らかにされました。



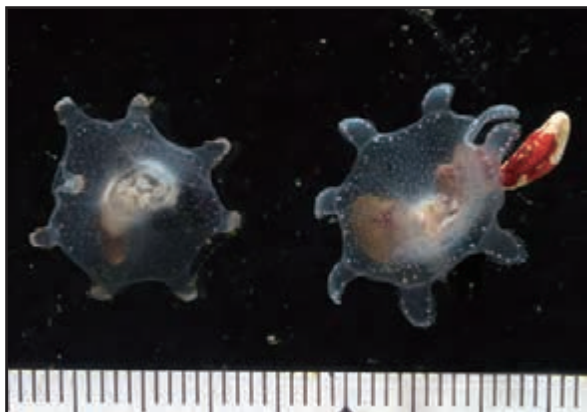
110年ぶりに見つかったドフラインイソギンチャク

2012年に、およそ110年ぶりに、東京湾の入口付近の水深100-200メートルで確認されました。当館にその標本が保存されています。



昔、房総半島にやって来たチョウザメ類

1950-60年代に千葉県の内房地方で捕獲されたダウリアチョウザメとカラチョウザメの剥製が保存されています。



超珍種のクラゲ、リプケア

2012年に海の博物館の水そうで見つかり、標本が保存されています。世界でも発見例のわずかな、珍しいクラゲです。



新種を発表するときに指定する「タイプ標本」

新種発表の際、その種の基準を示す「タイプ標本」を定める決まりがあります。当館には100点を超すタイプ標本が保存されています。